

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	対応方法
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2			同じ人数であっても体が大きな児童が多かった場合は少し狭く感じることはある その都度構造を活かした活動を楽しんでいる
	2	職員の配置数は適切であるか		6			急な休みなどがあった場合はその限りではないが通常は適切である
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1			バリアフリーを必要とする児童の利用があった場合は簡易スロープを設置する等の措置を講ずることができる
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6				何か問題となることが起きた時には迅速に、そうでない時にも定期的にミーティングを行っている
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報誌やホームページ等で公開しているか	6				今後もホームページでの公開を行う
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか	3	2		1	外部評価を行っているか知らされていないのでわからない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6				定期的なミーティングを通じ同時に研修も行っている
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービスを作成しているか	6				ほぼ出来ているように思う
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1			活動内容については情報交換を行っている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6				活動が固定化しないよう努めている 仕切りを行うスタッフを固定化しないことで対応している

13	平日・休日長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援出来ているか	6				平日は時間的に難しいことも多いが長期休暇等には1時間運動や公園、クリーン活動などを行っている
----	-------------------------------------	---	--	--	--	--

14	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適度に組み合わせて放課後等デイサービスの計画を作成しているか	6				工作や細かい作業等、差が出てしまうものに関しては一人一人に合わせて行っている
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1			出勤時間が異なる為揃っては中々難しいが連絡ノート等で確認している
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2			気付いた点は管理者に伝え必要があれば都度連絡ノートに記録している
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1			連絡ノートがあることでスタッフ間で情報共有ができ改善につなげることができている
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6				

関係機関や保護者との連携関係機関

20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6				
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6				お迎え時に先生から申し送られた事は施設に戻ってから情報共有している お迎え時刻に関してはプリントをみて配車している
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		1		5	医療的ケアが必要な子どもを受け入れた経験がないので支援に必要な情報は管理者が伝えてくれている 現在医療的ケアが必要な利用者はいない為わからない
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	6				

や 保 護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害者福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するに等しているか	5			1	求められたら提供できる体制は出来ている
	25	児童発達支援センターや児童発達支援事業所等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1	1	2	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか		1	4	1	こういった機会はなかなか持つことが難しい

	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	1		3	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			1	送りの際の報告やモニタリングを通じ積極的に情報共有を行っている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	2		1	送りの際の報告やモニタリングの際、保護者からの相談があった場合は答えられる範囲で答え、難しい場合は持ち帰り後日返答している
保 護 者 へ の 説 明 責 任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	2		1	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			4	2	父母の会の活動を知らない
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6				苦情があった場合はまず謝罪し管理者に報告、その後管理者の指示に従い対処している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			1	今後も Twitter やおたよりを通して発信していく

	35	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1			
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6				避難訓練等は年に数回行っている 避難経路確認も含め 引き続き定期的に行っていく

	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			1	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6				